第 203 回 長崎大学 FD 実施報告書（令和 2 年 3 月 17 日提出）

１．題　　目　：　授業の動画コンテンツ化推進プロジェクト報告 3

２．日　　時　：　令和 2 年 2 月 20 日（木）　13:30-15:00

３．場　　所　：　A-12 教室（文教キャンパス 教養教育講義棟 1 階）

４．主　　催　：　大学教育イノベーションセンター

５．対　　象　：　全教員

６．長崎大学 FD に関する申合せ第 2 第 1 項の該当について【複数選択可】
（該当するものに〇を記入すること）：
[　〇　] (1)　教員の教育活動に関するもの
[　　] (2)　カリキュラムの改善に関するもの
[　　] (3)　教育の組織的改善に関するもの
[　　] (4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
[　　] (5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回の FD の趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）：
本 FD は、平成 30 年度に実施した「授業の動画コンテンツ化推進」の取り組みに協力参加した学内教員を講師に迎え、動画コンテンツの作成法や授業での活用法を事例として報告していただく。受講者は、講師と知見を共有するとともに、動画の作成手順と効果的な活用について理解を深めることを目的とする。動画コンテンツを活用すると、学生に予習復習を促すだけでなく、やむを得ず欠席した学生にも講義内容を伝えることができる。また、言語的に説明することの難しい技能習得や手順の理解など、動作やノウハウの習得に効果を見込めるという利点がある。今回の報告では、実験実習の手順等について事前解説をして対面での実習に備えた事例についても紹介いただく予定である。後半の 40 分は相談会のような雰囲気で、登壇者以外の参加者の授業での動画活用の可能性について個別に相談し合う時間とする。
本 FD の到達目標：自身の授業を動画コンテンツ化することや動画を授業実践に活用することの計画を立てられる。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）：

題目：授業の動画コンテンツ化推進プロジェクト報告 3

（事例報告 50 分＋動画活用相談 40 分）

担当講師：　松田　尚樹　教授　（原爆後障害医療研究所）

村上　裕人　准教授（工学部）

大坪　樹　　助教　（工学部）

北村　史　　助教　（大学教育イノベーションセンター）

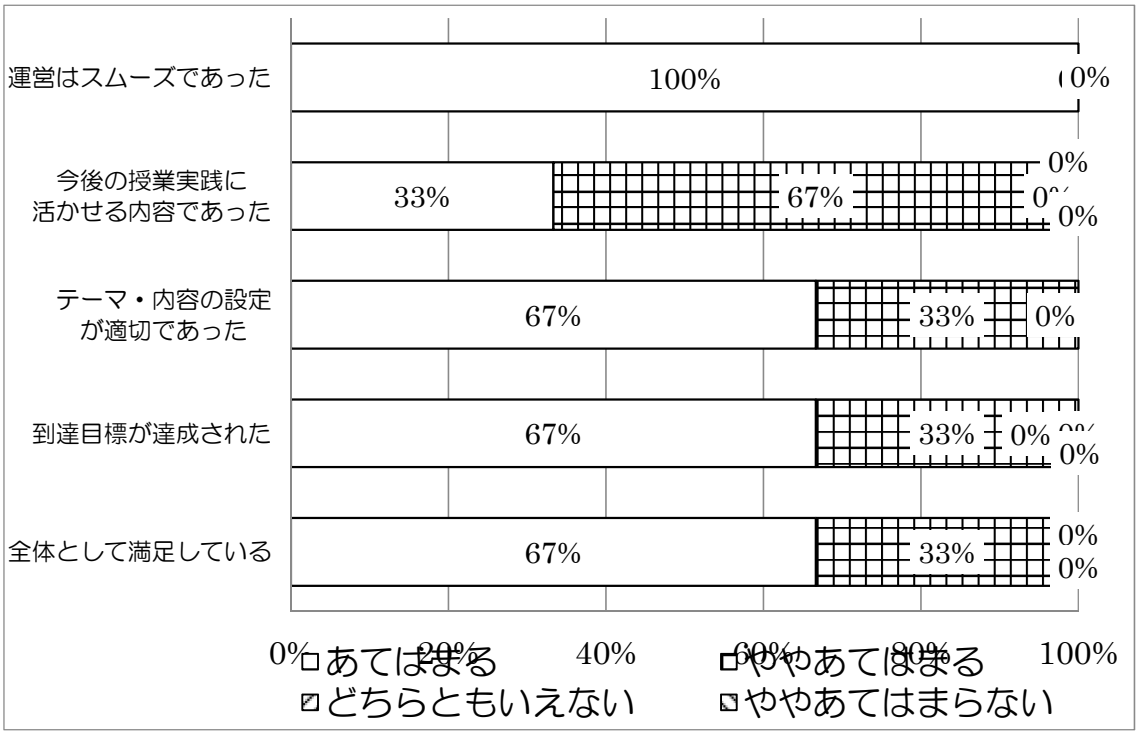
９．参　加　者：　9　名（受講証明書発行対象者：　9　名）

（内訳）

所　属	人　数
経済学部	1
工学部	2
医歯薬学総合研究科	2
原爆後障害医療研究所	2
大学教育イノベーションセンター	1
学生支援部 教育支援課	1
計	9

１０．実施した FD の成果等：

（1）参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）



●今回のプログラムについて，お気づき・ご意見・ご感想。

・グループワークのあと、共通課題に対する解をみんなでもう一度確認する時間が欲しかった。

・他の先生がどのように動画を活用しているか、又は悩みがあるかわかってよかったです。私としては、動画初心者なので、技術的なことを聞きたかったです（PP への動画組み込み方、ナレーションの入れ方等）時間の長さは適当、3 事例も適当だったと思います。

●長崎大学 FD としてとりあげるテーマ・内容について，ご意見・ご要望。

・動画コンテンツの作り方に関するセミナー

・これまでいろいろあって、プレゼンスキルなども受講し、役に立っていると思いますが、時間節約のため、それこそ動画でアーカイブしていただいていつでも見れるようにしておいてもらえると（15 分毎とか）大変助かります。

(2) 総　　括

参加者は少人数であったが、実際の取組みを例に、それぞれが動画活用のイメージをもつことができた。動画作成の手順についても、事例報告の中に含まれていたものの、参加者の意見から、動画作成についてハンズオンで学ぶ機会が求められているようである。ICT 基盤センターで実施しているワークショップでは動画作成についても扱っているが、その他の機会も積極的に拡大する必要がありそうである。

１１．実施代表者の連絡先：

大学教育イノベーションセンター
助教　北村 史
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2455

１２．申請者の連絡先：

同上